

奈良教育大学附属中学校 美術科特別授業「仏像の魅力」報告

宇田秀士

(奈良教育大学 美術教育講座 (美術科教育学))

Report on "the fascination of the Buddha statue" in Special Art Class:
Teaching Appreciation Materials for Junior High School Attached to Nara University of Education

Hideshi UDA

(Department of Fine Arts Education, Nara University of Education)

要旨: 本報告の授業資料は、2017年6月に奈良教育大学附属中学校2年生クラスに筆者が実施した特別授業に関するものである。翌週の附属中学校美術科教諭による授業とあわせ、教育実習事前指導における例示授業として設定され、学部該当学生7名、大学院修士課程院生2名、附属中美術科教諭1名が参観し、事後に協議会をもった。1時間完結のいわゆる「投げ込み授業」として設定し、仏教美術鑑賞入門の位置づけとした。この授業で用いた「学習指導案」「授業で使ったワークシート」「記録画像」を提示し、教育実習事前指導並びに美術科鑑賞授業考察の基礎資料とする。

キーワード: 美術教育 art education
美術鑑賞 artistic appreciation
仏像 the Buddha statue

1. はじめに

本報告で取り上げる授業資料は、2017年6月14日(水) 午後に奈良教育大学附属中学校2年生クラスにおいて筆者が実施した特別授業に関するものである。この授業は教育実習事前指導における例示授業として設定された。

大学教員が行なう特別授業のため、該当クラスにおいて50分完結のいわゆる「投げ込み授業」として設定し、仏教美術鑑賞入門の位置づけとした。授業の中心となる仏像は、奈良市東大寺法華堂(三月堂)に安置される秘仏「執金剛神立像(しゅこんごうじんりゅうぞう)-国宝、制作年代奈良時代8世紀、像高約173cm、年に一度公開」である。

この授業で用いた「学習指導案A4判4枚」(図1、2)「ワークシートA4判2枚」(図3)「授業記録画像」(図4-13)を提示し、今後の教育実習事前指導並びに美術科鑑賞授業考察の基礎資料とする。

2. 授業準備物

○指導者 プロジェクター、パソコン、書画カメラ、配付資料40セット(歴史資料、東大寺境内図、三月堂内陣画、秘仏画像2種類、A4判ワークシート)、A3判執金剛神立像再現描写用プリント(色鉛筆による彩色用

40枚、CG復元「執金剛神立像」A4判40枚、「短冊黒板」、予備の色鉛筆40セット

[プリントアウトした掲示作品画像] 現存「執金剛神立像」「A1x4」判とA1判、CG復元「執金剛神立像」「A1x4」判と上半身A1判3種類

○生徒 筆記用具、色鉛筆セット

3. 授業資料作成で使用した主なカタログ

○あべのハルカス美術館『開館記念特別展 東大寺』2014.
○東大寺『東大寺』2016.

[謝辞] 本授業の機会を与えていただいた奈良教育大学附属中学校松川利広校長、同校教職員に感謝致します。

[付記] 本研究は、以下の支援を得て行ないました。

○2017年度学長裁量経費研究(加藤久雄学長)「2017年3月改訂文部科学省学習指導要領に対応した授業力の育成-新学習指導要領におけるカリキュラム・マネジメントをふまえた<教科・領域横断的な学び>が作る授業力の研究と大学授業への展開」(代表宇田 秀士)

○2017年度 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) No. 17K04780「<アートの拡張>をふまえた題材・授業開発-美術教育における「遊び」概念に基づいて」(代表宇田 秀士)

6. 準備物
 プロジェクター、パソコン、書画カメラ、配付資料セット、ワークシート、再現描写用プリント、
 指導者 「短冊黒板」、予備の色鉛筆セット
 掲示作品 現存の「執金剛神立像(画像)」「A1x4」判、A1判
 CG再現の「執金剛神立像(画像)」「A1x4」判、上半身A1判
 生徒 筆記用具、色鉛筆セット

7. 指導計画 (全1時間 50分 X1)

学習活動		時間
第1次	導入 ・学習内容の把握 ・仏像の形や色彩などから、その仏像の特徴を感じ取る。 ・仏像の形や色彩やそこから感じ取れる特徴から、その仏像の造られた当時の像の色彩を想像して描く。 ・現存の仏像と造られた当時の像を比較する。	1 本時

8. 本時 全1時間中第1時間目の内容

- 8-1 学習目標 5. 学習目標と同じ。
 8-2 本時の準備物 6. 準備物と同じ

8-3 本時の展開 (細案との折衷型)

時間	指導者の働きかけ・指導・評価 「」・・・主要指示、発問、助言 □・・・板書	生徒の活動
導入	○出次、本時の活動の確認 ある仏像の魅力を探る事を伝える。 【仏像の魅力(鑑賞)】	○本時の活動内容を知る。
5分	○スライドによる紹介 ・東大寺、三月堂の内陣、不空検索羅音の周囲の8つの仏 ○本時の主役の紹介 秘仏	
展開	○秘仏「A1x4」判、A1判を掲示 【東大寺三月堂(法華堂)、秘仏、像高 約173cm】 ・「ぱっと見て、どんな感じがしますか。」 ○資料セット1の配布と中身の確認 1. 歴史、2. 境内の図、3. 三月堂内陣の様子、4. 秘仏、5. 秘仏(別角度)、ワークシート ○現存仏像の鑑賞活動 ・ワークシートに記入させる。 ・「少し、詳しく見ます。気付いたことをワークシートに2つ書いて下さい。」「隣の人と話してもよいです。書きやすい所から書いて下さい。」 【顔/髪/服装/その他】 ・生徒の気付きを板書	S1 「怒っている」 S2 「筋肉がすごい」 S3 「兵士みたい」 ○資料と掲示物を見ながら活動を進める。 ○ワークシートに記入しながら活動をする。 S1 「目が丸い」 S2 「手の血管が浮き出ている」 S3 「よろいがかっこいい」 S4 「色が所々にある」
15分		

美術科 学習指導案 (略案) 中学校2年生

指導者 宇田 秀士(奈良教育大学) 印

1. 日時・場所
 平成29(2017)年6月14日(水) 第5時間目(14:00-14:50)
 奈良教育大学附属中学校 美術室
2. 学年クラス
 同校 第2学年X組 38名 男子18名、女子20名
3. 題材名・分野
 「仏像の魅力」 (学習指導要領 B 鑑賞)
4. 題材について (簡略版 - 教材観を中心に、生徒観、指導観の一部を省略)
 仏像は、信仰の対象としての仏の形象であるとともに、貴重な美術作品でもある。ところが、中学生にとっては、必ずしも身近な存在とは言えず、その魅力を十分に感じ取れていないことも多いのではないだろうか。そこで、今回は、奈良時代、天平文化を代表する<仏像・美術作品>であるとともに、地元奈良市の観光資源でもある仏像「執金剛神立像(しゅこんごうじんりゅうぞう)」、国宝、制作年代 奈良時代 8世紀、像高 約173cm、安置場所 東大寺法華堂(三月堂)、秘仏」を題材とする。
 本授業を仏教美術の入門授業と位置づけ、「東大寺 法華堂 執金剛神立像」を対象として、その形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージを自分の感覚でとらえることを中核に置く。現存の像(画像)の鑑賞、学習内容をふまえての造られた当時の像の想像図作成(色鉛筆による「塗り絵的」彩色)、造られた当時の像(画像)の鑑賞の順に活動を進め、その魅力に迫るようにしたい。
 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べる学習は、これを契機に生徒の中で自主的に行なわれるようになれば幸いである。

5. 学習目標
 1. 仏像の形や色彩などから、その仏像の特徴を感じ取ることができる。
 2. 仏像の形や色彩やそこから感じ取れる特徴から、その仏像の造られた当時の像の色彩を想像して描くことができる。
 3. 仏像に対する鑑賞活動を通して、自他の共通点と相違点を感じ取り、鑑賞活動そのものを楽しむことができる。
 <評価規準>
 (1)、仏像の形や色彩などから、その特徴を感じ取ろうとしているか。(関心・意欲・態度)
 (2)、仏像の形や色彩やそこから感じ取れる特徴から、その仏像の造られた当時の像の色彩を想像して描こうとしているか。(発想・構想の能力)
 (3)、仏像に対する鑑賞活動を通して、自他の共通点と相違点を感じ取っているか。(鑑賞の能力)
 <共通事項>
 ア、形や色彩、材料などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること
 イ、形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること

図1 学習指導案1 (A4判で作成した学習指導案の1-2頁)

この像をよく見てみると、所々に朱色や赤色、黄色のような色彩があり、元々は、色が施されていたことに気付くことでしょう。この気付きも大切な鑑賞活動です。仏像全般にそうなのですが、「最初につくられたときには、どんな色や形だったのだろうか」といった想像力を働かせながら鑑賞するのも仏像をみるときの楽しみの一つだからです。

元々は極彩色！

そのような関心を一層かき立ててくれる研究報告がありました。東京芸術大学と東京理科大学の研究者—

山代表 藪内佐斗司・東京芸大大学院教授が、**執金剛神立像の彩色をコンピュータグラフィックス(CG)技術で再現し、2013年12月8日に東大寺で発表**したのです。

このチームは2011年から2012年にかけて、厨子から出した像に蛍光X線分析などを実施し、特定した顔料や肉眼による調査から彩色を復元し、CGデータに落とし込んで造像当初のカラフルなイメージを作りました。

高価な鉛白(炭酸水酸化鉛(Pb))を使った純白の下地に、群青(くんじょう)や緑青(ろくじょう)など純度の高い顔料を塗り、非常に鮮やかな色彩だったことが判明しました。これまで石とも考えられてきた目には鉛ガラスが使われていたそうです^④。

よろいの金箔の上の雲文(うんもん)や唐草文、腰回りの小札(こざね)の小さい小さな板の孔雀の羽根や対葉花文(たいようかうもん)が鮮やかに再現されています。

もちろん、CGの質感と実際の質感は違うということも念頭におきながら、図1と図2を比べてみましょう。図2は、図1の古さや重みを感じる様相に比べ、鮮やかで現代的な印象があるかもしれません。まるで、ゲームやアニメのキャラクターのように感じる方もいることでしょう。今の時代の仏像と造られた当初の仏像の色や形、このギャップを楽しむことも仏像鑑賞の楽しみみです。

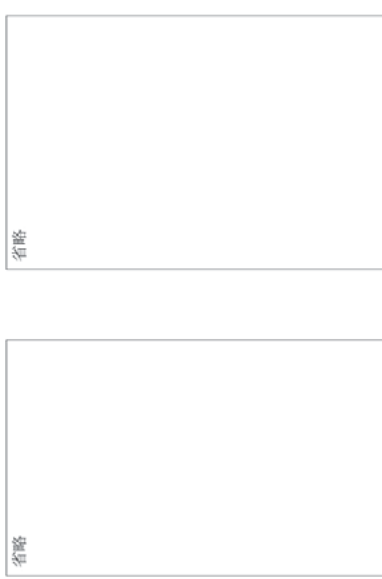


図1 東大寺 法華堂 執金剛神立像

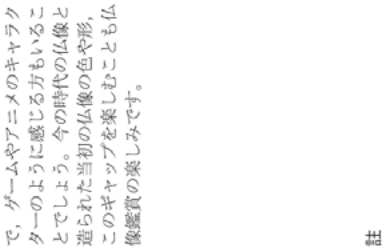


図2 東大寺 法華堂 執金剛神立像 CG

註

④奈良市 東大寺HP 2017.4.20 確認, <http://www.todaiji.or.jp/contents/function/buddha6.html>
 松浦正昭「奈良 11(白鳳・天平時代)」辻惟雄監修『カラー版 日本美術』美術出版社、1994年、PP. 41-42。
 ⑤松山尚幹記「朝日新聞 朝刊」2013.12.2付 「日本経済新聞 電子版」2013.12.8付 2017.4.20 確認。
https://www.nikkei.com/article/DGXNSFP0802A_031201C1000000_

20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ボージングを実演 ・「この像の仕事や役割は何だと思えますか」 ・生徒の考えを板書 <p>○仏像の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・像の名前 執金剛神立像(しゅこんごうじんりゅうざう) 	<p>S1 「世の中を怒っている」</p> <p>S2 「仏を守っている」</p> <p>○像の名前をワークシートに記入</p>
25分	<p>国宝、奈良時代 8世紀、よろい、金剛杵(こんごうしよ), 仏の説いた教えを守る姿の塑像</p> <p>金剛：とても固くてこわれないものの例え</p> <p>○造られた当時の姿(1200年以上前は、どうなっていたかを想像させる。再現描写用プリントを配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで鑑賞した内容 ・所々に残る色彩 ○色鉛筆で、最初に顔から塗り始めることを指示。机周指導(個別指導) ○書面カメラで映しながら紹介 	<p>○これまで鑑賞した内容や現存する色彩をもとに想像し、色鉛筆で彩色。</p> <p>S1 「怒っている感じに描こう」</p> <p>S2 「朱色をうまく使おう」</p>
35分	<p>○秘仏再現CG版打ち出し「Mix4」判、A1判、顔版を掲示</p> <p>○資料セット2の配布</p> <p>6. CG再現版全身、7. CG再現版部分</p> <p>説明 CG技術での再現 2013年12月8日発表 研究代</p> <p>表 藪内佐斗司先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較して感想をさく。 ・あくまで現時点の研究の成果であることを伝える。 <p>○次の指示、準備物</p>	<p>S1 「元はけっこうケバいな」</p> <p>S2 「私は、今の方が好き」</p> <p>S3 「韓国の兵士みたい」</p>

御講評欄 ご様よろしくお願ひします。

授業のためのメモ uda

執金剛神立像
 奈良市 東大寺 法華堂(三月堂) 執金剛神立像(しゅこんごうじんりゅうざう) 国宝、奈良時代8世紀前半、塑像、像高173.9cm)は、法華堂の厨子(すし：戸棚形の仏具)に安置されており、年に1度だけ公開される秘仏です。甲(よろい)に身を固め、**金剛杵(こんごうしよ)**という法具を持って**仏法(仏の説いた教え)を守る姿**

の塑像です。塑像とは、粘土・油土・ろうなどを肉付けして造った像のことです。金剛力士(仁王)は、このように仏法を守る神様が発展して生まれたといわれています。この執金剛神像はこの神将のうちでも古来最も著名なものです。

この像は、怒った顔の様子、隆起する体全体の筋肉の動き、よろいに包まれた体の造りによって、迫力を感じることでしょう。誇張をおさえた自然な造りでありながら、ダイナミックな緊張感を見る者に与えており、**奈良時代(710年-784年) 天平文化(729年-749年)**の彫刻のうちで、最も高度な写実表現と言われている^④。

図2 学習指導案2 (A4判で作成した学習指導案の3-4頁)

2017.6.14

仏像の魅力（鑑賞）

附属中学校 年 組 氏名 _____

1. 秘仏を見て

1. ぱっと見て、どんな感じがしますか？

自分	友だち
_____	_____

2. 気付いたこと

	自分	友だち
顔	_____	_____
体 からだ	_____	_____
腕	_____	_____
服装	_____	_____
その他	_____	_____

3. この像の仕事(役割)は何だと思えますか

自分	友だち
_____	_____

4. 仏像の名前

11. 造られた当時(1,200年以上前)の秘仏の姿

5. 造られた当時の像の印象は、どんなものですか。

自分	友だち
_____	_____

6. どちらが好きですか。その理由は？

自分	友だち
_____	_____

7. 感想

図3 使用ワークシート（A4判両面印刷で生徒に配布）



図4 生徒の机上-配布資料を入れた袋と色鉛筆



図5 授業者、三月堂内陣画像を示して「秘仏」の位置を説明



図6 授業者、現存の「秘仏」像を示して説明



図7 生徒、手元配布資料も参考にしながらワークシートに記入し発言



図8 授業者、「秘仏」像をふまえてポーズ



図9 授業者、現存「執金剛神立像」に残る彩色から造られた当時の色彩を想像させる



図10 生徒、色鉛筆で彩色

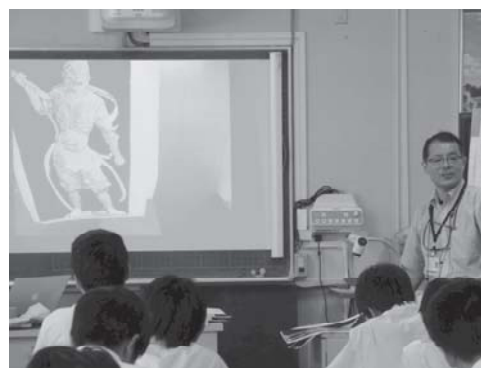


図11 授業者、生徒の色鉛筆による彩色を書画カメラでみせる



図12 授業者、藪内佐斗司氏らの研究グループによる復元CG「執金剛神立像」をみせる



図13 授業後の黒板（板書と「短冊黒板」）